## 博物館TOPICS

### 那覇市歴史博物館

#### 「常設展：戦後の那覇 1950～60年代の写真展」

現在、歴史博物館では、戦後の那覇をテーマに常設展示を行っています。前回ご紹介した「那覇市牧志街道拡幅工事平面図」のような資料の他に、1950年～60年代の写真も数多く展示しています。

終戦から数年が経ち、徐々に建物や道路が造られていく様子や、壺屋・牧志一帯に出来た市場や平和通りの活気。人の増加によって渋滞が激しくなり、拡幅された牧志街道（現在の国際通り）や交通機関の変化。生活が落ち着きを取り戻すにつれ、続々と建設された劇場や映画館などを紹介しています。また、当時の学校・教育についての展示もあり、生き生きとした子どもたちの表情は、いつの時代も変わらず見るものを和ませてくれます。

戦後の何もない時代から復興していった、たくましい那覇の人々の写真をぜひご覧ください。

1951～52年ごろの牧志街道（現在の国際通り）

▼展示期間　開催中～10月26日（月）

［国宝尚家関係資料10月の特別展示］

#### 王家の男性衣裳

▼展示期間　10月2日（金）～10月26日（月）

#### 黒漆と螺鈿（らでん）の漆器

▼展示期間　開催中～10月26日（月）

**那覇市歴史博物館**（パレットくもじ4階）
開館時間：10時～19時
休館日：木曜
観覧料：一般350円（大学生以下 無料）
☎869・5266　FAX869・5267

### 壺屋焼物博物館

#### 今後の臨時休館について

引き続き一部のイベントを中止するとともに、新型コロナウイルスの感染拡大状況によって臨時に休館する場合があります。なお、最新の情報については当館のホームページに掲載予定ですが、現在不具合により閲覧できない状態が続いていますので、直接電話でお問い合わせください。ご迷惑をおかけして申し訳ありません。

#### 「卵の殻の不思議な世界 ～エッグシェルアート作品展～」

卵の殻を加工して素敵なアートを作りだす、エッグシェルアート作品を紹介します。

▼会期　10月6日（火）～10月11日（日）
▼主催　比嘉 常美
▼場所　3階企画展示室
▼観覧料　無料

#### 「世界遺産出土品巡回展 ～未来に継ぐ琉球の宝～」

今年は、「琉球王国のグスク及び関連遺産群」が世界遺産に登録されてから20周年にあたる節目の年です。

本展では、登録20周年を記念して、世界遺産に登録された遺産群の紹介を中心に、それらの遺跡より出土した遺物を展示します。

「世界の宝」を存分にご覧いただき、これからの時代にふさわしい文化財の保全と活用に対する理解を深めていただければ幸いです。

▼会期　10月16日（金）～11月1日（日）
▼主催　「琉球王国のグスク及び関連遺産群」世界遺産登録20周年記念事業実行委員会
▼場所　3階企画展示室
▼観覧料　無料

**壺屋焼物博物館**（那覇市壺屋1丁目9番32号）
開館時間：10時～18時（入館は17時半まで）
休館日：月曜 ※ただし、月曜休日の場合は開館
常設展観覧料：一般350円（大学生以下 無料）
☎862・3761　FAX862・3762

## 那覇市立図書館 なぽんちゃんのブックトーク

市立図書館キャラクター「なぽんちゃん」

はいたい。「なぽんちゃん」です。
みなさん、図書館で本を借りたことはありますか？
図書館には古い本が並んでいるイメージがあるかと思いますが、新刊の本や雑誌もたくさんあり、無料で借りることができますよ。
たくさんの本が並ぶ本棚の前でじっくり本を選ぶ時間はいいものです。今月は“秋”を楽しむ本をご紹介しま～す。

### 『おきなわの星』

福里美奈子 文　ミキシズ 絵　（ボーダーインク：出版）

「ニーヌファブシ」って知っていますか。そうです。北極星のことです。歌にも出てきますね。この本には沖縄のくらしと星の関係やウチナーグチでの呼び名、民話が紹介されています。もちろん星の動きや季節ごとに見える星座などイラストを使い分かりやすく書かれています。星空図（ほしぞらず）の見方や星の見つけ方を参考に親子で秋の空を眺めてはいかがですか。

### 『14ひきのおつきみ』

いわむらかずお 文・絵　（童心社：出版）

ねずみの家族がなかよくお月見をするお話です。高い木の上に月見台をつくり、自然の恵みに感謝しお団子やススキもお供えします。だんだんと暮れ行く森の中でお月様が昇るのを待ちます。やがて現れたお月様の優しい光を浴びて大喜びするねずみたち。心があたたまりしみじみと秋を感じる本です。

（担当：牧志駅前ほしぞら図書館）

問 中央図書館　☎917-3449

## あの日の那覇にタイムスリップ ちょこっと VOL.6

### 市民県総出の海邦国体

1987年（昭和62年）、「きらめく太陽　ひろがる友情」のスローガンのもと、「一人一役万人（うまんちゅ）が主役」を合言葉に開催された第42回国民体育大会「海邦国体」。夏季大会は9月20日～23日までの4日間、秋季大会は10月25日～30日までの6日間、県内各地で行われました。

本市は、バレーボール、サッカー、テニス、軟式野球、柔道、弓道、ボウリング、水泳の八競技で主会場となり、約5千人の市民が運営などに携わりました。

沖縄県は、天皇杯（男女総合優勝）、皇后杯（女子総合優勝）を獲得し、有終の美を飾りました。また、夏季大会の最終日には、日本における20世紀最後の「金環日食」が観測されたことで、さらなる盛り上がりを魅せ、大会に華を添えました。

フィルム越しに金環日食を見る選手たち

広告